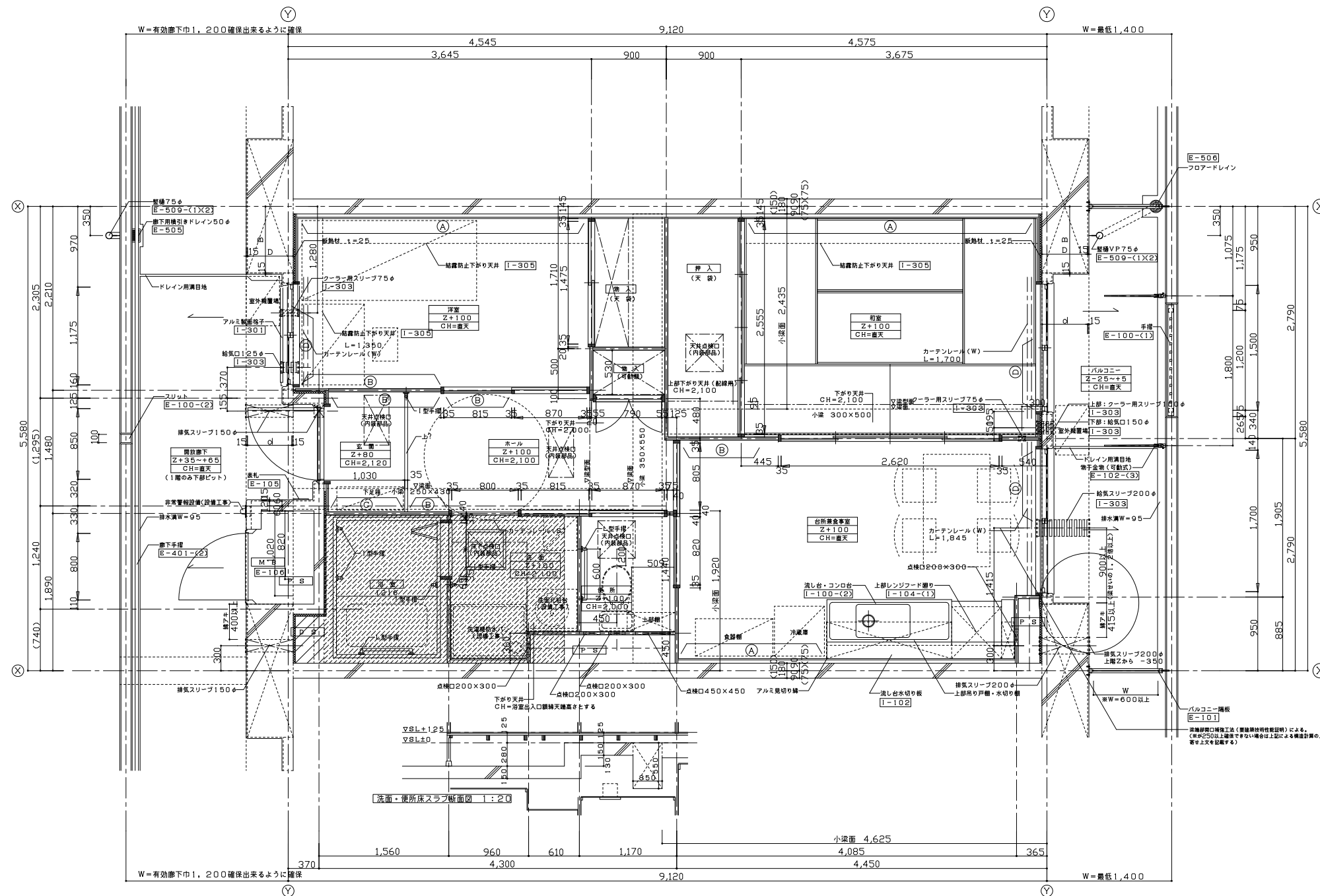
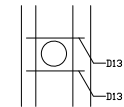


寸法は、Zレベルから大梁構造寸法下、H=2,000を確保すること。  
 一般住戸は、MA1ハラストタイプ外部廊下とのレベル差を考慮し、スロープを設け階高を換算し、谷部仕様の場合t40、PB仕様の場合t50（標準図はt40）であるので注意すること。  
 高は2,750を基準とする。

# 添付図8 標準平面詳細図(1)

スリーブ開口補強



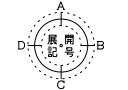
Z-30±0

スリーブ開口補強工法（建築現場実証試験）による。  
 床面Z+100以上層で施工する場合は上記による構造設計の上、スリーブ柱に  
 実寸寸法を記載する。

凡	<ul style="list-style-type: none"> <li>排気スリーブ</li> <li>給気口</li> <li>給気スリーブ(ダクト有り)</li> <li>部分スラブ天SL-280</li> <li>E-番号</li> <li>I-番号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーラー用スリーブ</li> <li>電気スリーブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 転倒防止付欄</li> <li>(B) 将来手摺下地補強</li> <li>(C) 壁高家具等転落防止金具取付下地補強</li> <li>(D) エアコン取付下地補強</li> </ul>
---	--	---	---

例  
 室名  
 床高さ(FL)  
 天井高さ

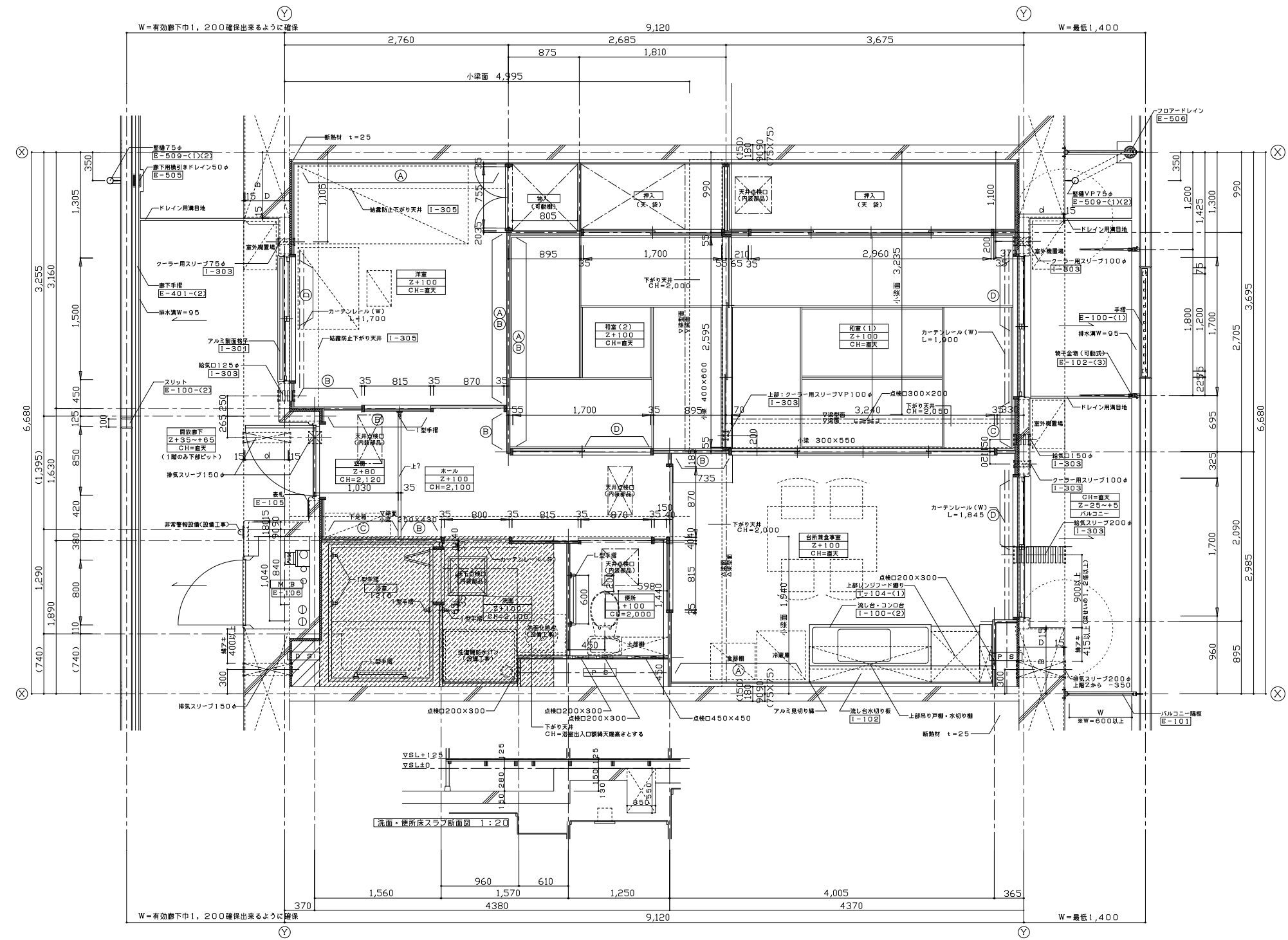
- 特記事項
- 1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下（外壁面から900mm迄）には、ポリスチレンフォーム保温材B種3種（JISA9511）厚さ25mmを躯体に打ち込む事。
  - 2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・整地の位置については平面図参照のこと。
  - 3) 特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする（内装部品）。
  - 4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す（構造図による）。< 寸法は構造による。
  - 5) ※印は名メーカー仕様の寸法による。
  - 6) 結露防止下がり天井については、外壁面等（外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面）の場合に設けること。



竣工図		竣工 平成〇〇年〇〇月〇〇日	
承認	大阪府住宅まちづくり部 公共建築工務グループ 〇〇〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	現場監督 〇〇〇〇 大府住宅供給公社 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇
工事名称: 大阪府営〇〇〇〇〇〇期住宅(建て替え)〇〇〇〇〇〇工(第〇工区)			
型式名: 〇〇〇〇			
図面名称: 2DKタイプ平面詳細図			
設計 平成18年7月31日			
代表者	設計	作図	縮尺
〇〇	〇〇	〇〇	A2 A1 1/30 A3 1/60

寸法は、Zレベルから大梁構造寸法下、H=2,000を確保すること。  
 換気スリートの設置は、換気口と対応する上「Z」レベルにも記入のこと。  
 階一般住戸は、MA1ハウスタイプ外部廊下とのレベル差を考慮し、スロープを設け階高を換気口高さとする。各階仕様の場合t40、PB仕様の場合t50（標準図はt40）であるので注意すること。  
 高は2,750を基準とする。

# 添付図 8 標準平面詳細図 (2)

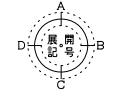


凡	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気スリート</li> <li>給気口</li> <li>給気スリート(ダクト有り)</li> <li>部分スラブ天SL-280</li> <li>部分スラブ天Z+60</li> <li>E-番号</li> <li>I-番号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーラー用スリート</li> <li>電気スリート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 転倒防止付欄</li> <li>(B) 将来手摺下地補強</li> <li>(C) 壁高家具等転倒防止金具取付下地補強</li> <li>(D) エアコン取付下地補強</li> </ul>
---	--	---	---

例	<ul style="list-style-type: none"> <li>室名</li> <li>床高さ(FL)</li> <li>天井高さ</li> </ul>
---	---

特	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B種3種(JISA9511)厚さ25mmを躯体に打ち込む事。</li> <li>2) 共用廊下、バルコニーのドレイン・整地の位置については平面図参照のこと。</li> <li>3) 特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする(内装部品)。</li> <li>4) D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。&lt;寸法は構造による。</li> <li>5) ※印は名メーカー仕様の寸法による。</li> <li>6) 結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。 要面の結露防止下がり天井については、外壁面等(外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面)の場合に設けること。</li> </ol>
---	---

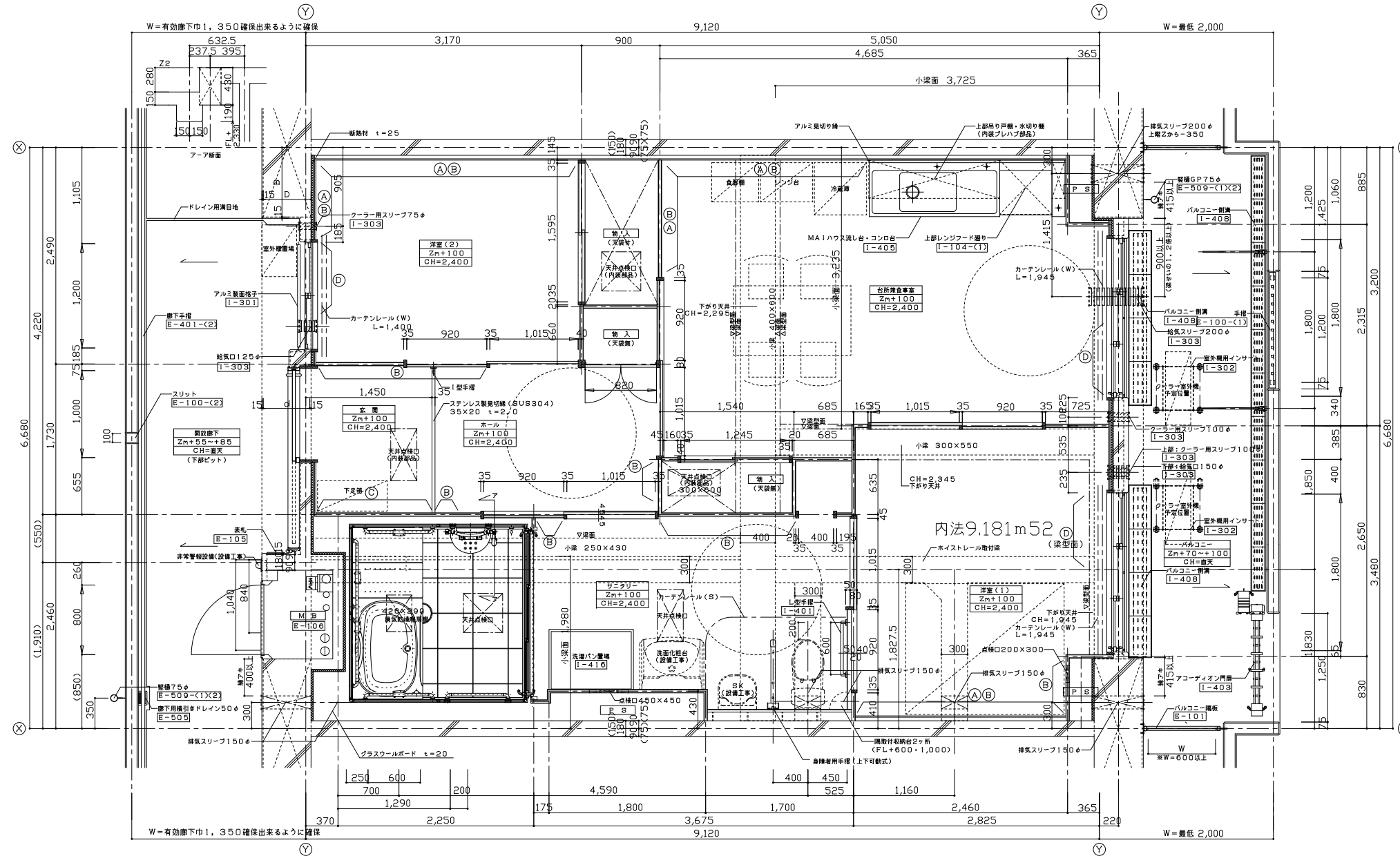
事項	<p>洗面・便所床スラブ断面図 1:20</p> <p>W=有効廊下巾1,200確保出来るように確保</p> <p>W=最低1,400</p>
----	---



竣工図	竣工 平成〇〇年〇〇月〇〇日									
承認	<table border="1"> <tr> <td>大阪府住宅まちづくり部 公共建築工務グループ</td> <td>現場監督</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>代表者</td> <td>担当</td> <td>〇〇〇〇</td> </tr> <tr> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> <td>〇〇</td> </tr> </table>	大阪府住宅まちづくり部 公共建築工務グループ	現場監督	〇〇〇〇	代表者	担当	〇〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
大阪府住宅まちづくり部 公共建築工務グループ	現場監督	〇〇〇〇								
代表者	担当	〇〇〇〇								
〇〇	〇〇	〇〇								
工事名称	大阪府営〇〇〇〇〇〇期住宅(建て替え)〇〇〇〇〇〇工事(第〇工区)									
型式名	〇〇〇〇									
図面名称	3DKタイプ平面詳細図									
設計	平成18年7月31日									
代表者	〇〇									
設計	〇〇									
作図	〇〇									
縮尺	A1 1/30									
	A2 1/60									

寸法は、Zレベルから大梁構造寸法下、H=2,000を確保すること。  
 一般住戸は、MA1ハウスタイプ外部廊下とのレベル差を考慮し、スロープを設け階高を換算し、各住戸の場合t40、PB住戸の場合t50（標準図はt40）であるので注意すること。  
 高は2,750を基準とする。

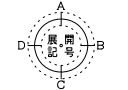
# 添付図 8 標準平面詳細図 (3)



凡	<ul style="list-style-type: none"> <li>排気スリーブ</li> <li>給気口</li> <li>給気スリーブ(ダクト有り)</li> <li>部分スラブ天SL-280</li> <li>部分スラブ天Z+60</li> <li>E-番号</li> <li>I-番号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーラー用スリーブ</li> <li>電気スリーブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 転倒防止付欄</li> <li>(B) 将来手摺下地補強</li> <li>(C) 壁高家具等転倒防止金具取付下地補強</li> <li>(D) エアコン取付下地補強</li> </ul>
---	--	---	---

例	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室</li> <li>床高さ(FL)</li> <li>天井高さ</li> </ul>		
---	---	--	--

特	<ol style="list-style-type: none"> <li>外壁及び直接外気に面する押入、物入の天井裏スラブ下(外壁面から900mm迄)には、ポリスチレンフォーム保温材B種3種(JISA9511)厚25mmを躯体に打ち込み事。</li> <li>共用廊下、バルコニーのドレイン・整地の位置については平面図参照のこと。</li> <li>特記なき限り、床下点検口は口450×450、天井点検口は口450×450とする(内装部品)。</li> <li>D・B寸法は柱巾、d寸法は梁巾を示す(構造図による)。&lt; &gt;寸法は構造による。</li> <li>※印は名メーカー仕様の寸法による。</li> <li>結露防止下がり天井は北側居室の北側壁面に設けること。</li> <li>要面の結露防止下がり天井については、外壁面等(外壁面、EVホールや住居以外の室等に接する面)の場合に設けること。</li> <li>台所を裏壁側に設けること。</li> </ol>
---	---



竣工図	竣工 平成〇〇年〇月〇日
承認	大阪府住宅まちづくり部 公共建築工務グループ 〇〇〇〇 担当 大阪府住宅供給公社
工事名称	大阪府営〇〇〇〇〇〇期住宅(建て替え)〇〇〇〇〇〇工事(第〇工区)
型式名	〇〇〇〇
図面名称	2DK-MA1タイプ平面詳細図
設計	平成18年7月31日
代表者	〇〇 〇〇 〇〇
設計	〇〇 〇〇 〇〇
作図	〇〇 〇〇 〇〇
縮尺	A1 1/30 A2 - A3 1/60